

# 福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	教育委員会一般管理事業				事業コード	620501					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進			施策コード	411					
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	西躰 一欽					
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	01 事務局費	会計	01 一般会計	決算附属資料	228・230	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	-										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	教育委員会や教育総務課の運営及び市立小中学校や各教育機関等との連携を行い本市教育の充実を図る。										
対象者	市立幼稚園・学校 園児・児童・生徒・教職員				対象者数	6,684		単位あたりコスト	4.4		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	神戸総合速記(株)、(株)西日本エスエスシー、野口建設										
事業概要 (箇条書き)	・教育委員会や教育総務課の運営及び各教育機関等との連携事務 ・外部評価委員により、教育委員会で実施した事業の点検・評価を行い、教育行政の推進に取り組む ・教育委員研修等に積極的に参加し、今日的な課題についての調査・研究を行う ・他市教育委員会(教育長・教育委員)間の交流により情報交換などを行い教育の振興、教育環境の充実を図る										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容							
	報酬	4,128		教育委員報酬							
	需用費	1,175		燃料費、消耗品購入、備品修繕料、封筒等印刷製本費							
	使用料及び賃借料	1,721		公用車賃借料、高速複合機賃借料、駐車料・高速道路等通行料、営繕積算システム賃借料							
	委託料	1,795		教育委員会会議録作成業務、草刈業務、教育啓発看板設置業務							
	役務費ほか	1,164		電話料、郵送料、廃棄物搬入手数料、自動車損害共済保険料、旅費、備品購入、年会費等負担金							

## III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	9,642		11,327		13,393		11,180	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)	9,642		11,327		13,393		11,180		
予算財源内訳	① 一般財源	9,642		11,327		13,393		11,180	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	0		△ 350					
	② 配当予算	9,642		10,977					
	③ 執行額	9,104		9,983					
	④ 執行率	94.4%		90.9%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	2.02 / 0.00		2.39 / 0.00		/		/	
	② 概算人件費	16,160		19,120					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	25,264		29,103						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額		
								決算附属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
							/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	教育委員会 議案審議数	件	40 / 40	36 / 40	36 / 40	/ 40	40
	単位あたりコスト		222.7	252.9	277.3		
	単位あたりコスト			1			教育委員会一般管理事業

## V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	本市の教育目標「自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成」の実現、教育環境の充実を図るため、月1回程度の教育委員会会議を開催し、規則の制定や改廃、当面する教育行政の課題について、活発な議論を行い、適切な判断をし、議決事項の審議を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	教育行政の充実を図るため、教育委員会の実施事業において、点検評価委員による事務の管理、執行状況の点検及び評価を実施し、その内容について公表を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策やICT環境の整備など、教育環境が大きく変化する中、様々な課題の解決に向けた取組の推進に努めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	よりよい教育環境を最優先に考え、本市教育目標の実現のため、他市教育委員会(教育長・教育委員)間の交流、情報交換、研修会に参加するなどし、教育行政の課題について理解を深めた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<b>【定性的評価】</b> 教育委員会会議においては、活発な意見交換や議案等の審議を行い、地域の実情に応じた教育の振興を図ることができた。他市教育委員会等との交流、情報交換などを積極的にを行い、さらなる教育行政の推進に努める。教育委員会の活動について広く的確に広報する必要がある。		
改善策	教育委員会会議の議事録公表や教育委員会でいう事業の活動内容について速やかに広報するため、教育委員会のホームページを充実させ、教育委員会の事業や活動内容について積極的に広報していく。		

## VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	教育委員会のホームページを充実させ、教育委員会の事業や活動内容について積極的に広報していく。

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	社会人コーチ派遣事業				事業コード	620171						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進			施策コード	411						
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	232	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	-											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	【部活動外部指導者】 中学校部活動と地域社会との連携を促進し、部活動の競技力や技術力の向上を図る。 【部活動指導員】 部活動指導員において、教職員と同じ役割を担える人材を配置することで、教職員の指導時間・負担の軽減を図る。											
対象者	生徒			対象者数	1,954		単位あたりコスト	2.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	-											
事業概要 (箇条書き)	中学生の部活動の指導者として社会人コーチ等を派遣する。 【部活動外部指導者】 学校教育や生徒の心身の発育・発達等にに応じた部活動の指導ができるよう学校との連携を図り、顧問と協力して部活動が展開されるように主に実技指導を補充するためのコーチ派遣を行う。 【部活動指導員】週3日2時間程度、部活動顧問と同じ役割を担える人材を雇用し、大会等引率も含め、通年的な指導を行い、部活動顧問の負担軽減を図る。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R4)		主な業務内容							
	報償費		984		部活動外部指導者・部活動指導員報償費							
	旅費		17		京都府地域運動部活動説明会							
	需用費		3		用度物品							
	役務費		18		部活動外部指導者・部活動指導員保険料							

## III 予算執行状況

区分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,181		1,647		4,015		3,401		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①~③)		1,181		1,647		4,015		3,401		
予算財源内訳	① 一般財源	791		1,050		1,339		3,401		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	390		597		2,676		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		3						
	② 配当予算	1,181		1,650						
	③ 執行額	886		1,022						
	④ 執行率	75.0%		61.9%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.30 / 0.00		0.37 / 0.00		/		/		
	② 概算人件費	2,400		2,960						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,286		3,982						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	部活動指導員に配置による顧問の部活動指導時間の負担軽減率	%		32 / 20	46 / 20	23 / 20	/ 20
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	部活動指導者・指導員雇用	人	15 / 19	18 / 19	11 / 19	/ 20	20
	単位あたりコスト		65.6	49.2	92.9		
	指導回数(部活動指導者)	時間	269 / 288	232 / 288	301 / 360	/ 1440	1440
(R4までは回数)	単位あたりコスト		3.6	3.8	3.4		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>【部活動外部指導者】 部活動に対して、地域人材(社会人)を派遣し、効果的・専門的な指導を行い、生徒の競技力・技術力の向上を目指すために寄与し、5校に派遣する事ができた。</p> <p>【部活動指導員】 教職員の働き方改革を行うため、顧問の教職員の部活動指導に係る時間の軽減に寄与し、1校に配置することができた。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>【部活動外部指導者】 顧問の教職員の専門的な指導が不足する場合に、専門的な指導の出来る人材を派遣し、効率よく生徒に指導が行え、中学校に合計10名の派遣ができた。</p> <p>【部活動指導員】 部活動指導員を配置することにより、単独での指導や大会引率ができるため、顧問の教職員の働き方改革に係る時間が軽減され効率的であり、1中学校に1名配置できた。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い  <input type="checkbox"/> やや低い  <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>【部活動外部指導者】 専門的な指導ができる地域人材(社会人)を派遣することで、部活動における生徒の育成や競技力・技術力の向上に有効である。また、団体行動での大切な事、礼儀等においても部活動を通じて学ぶ事ができている。指導者の人材確保については、福知山市立中学校部活動の在り方検討会議において検討している。</p> <p>【部活動指導員】 顧問の教職員が会議や打ち合わせ等や突発的な生徒指導の際にも、部活動指導員の指導により、部活動が継続して行え、生徒の部活動時間の保障と、教職員の負担軽減ができた。部活動の運営及び教職員の働き方改革の両面で有効である。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>【部活動外部指導者】部活動に対して、地域人材(社会人)を派遣し、学校や顧問の教員と連携をとりながら指導者が主に実技指導を補完することで、生徒の競技力の向上に寄与することができ、各学校からの成果報告書から、「丁寧な指導の継続により、昨年度は京都府大会優勝、今年度はベスト4進出を果たした。競技経験のある選手とない選手、それぞれに応じた指導を通じて、生徒の技術・関心・意欲の向上につながっている。技術面だけでなく、生徒に寄り添いながら、メンタル面でも支えとなり、生徒や保護者との信頼関係もできている。」という評価が確認できた。今後も、府の外部指導者事業と、市の部活動外部指導者事業の継続的な実施が必要である。</p> <p>【部活動指導員】 働き方改革の観点から、教職員の部活動指導時間の負担軽減が図れるため、予算措置をし充実を図る。また、福知山市立中学校部活動の在り方検討会議において、今後の人材確保等についても検討していく。<b>R6年度は各競技団体と連携をとり人材確保につなげていく。</b></p> <p>スポーツ庁の提言による運動部活動の地域移行等についても関係各機関と連携し、移行を進めていく。</p>		
改善策	<p>【部活動外部指導者】 専門的な指導のできる人材を派遣し、効率よく生徒の能力向上につなげるため、継続的な実施が必要であり、更に充実を図る。</p> <p>【部活動指導員】 働き方改革の観点から、教職員の部活動指導時間の負担軽減が図れるため、予算措置をし充実を図る。また、福知山市立中学校部活動の在り方検討会議において、今後の人材確保等についても検討していく。<b>R6年度は各競技団体と連携をとり人材確保につなげていく。</b></p> <p>スポーツ庁の提言による運動部活動の地域移行等についても関係各機関と連携し、移行を進めていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	部活動の地域移行を文化・スポーツ振興課と検討しながら進めていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	はばたけ世界へ 中学生短期留学事業					事業コード	610108				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進			施策コード	411					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	岸見 貴志					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	246	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R5現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	次代を担う中学生に、広い視野と国際感覚を持ち、新たな価値観や多様性を受け入れ、グローバルな国際社会で未来を切り開くために役立つ短期留学を支援し、国際交流を通じて自らの成長と新たな次のステップに挑戦する契機とする。また、将来的に地域経営のアイデアを有したグローバル人材の育成へとつなげる。										
対象者	福知山市内在住かつ福知山市内中学校に在学している2年生			対象者数	700		単位あたりコスト	13.2			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	ANAあきんど(株)地域創生部、ANAあきんど(株)京都支店										
事業概要 (箇条書き)	○令和4年8月に中学2年生15人を対象として、国内留学を実施する。 4～6月 留学生徒募集・選考、7月 事前学習会 開催、8月 国内留学 実施(研修地:長崎佐世保市等、期間:3日間)、留学報告会 開催 ○令和5年8月に中学2年生15人を対象として、カナダへ10日間の海外短期留学を計画し、生徒募集・選考及び業務委託契約を行う。 10月 現地視察(カナダ バンクーバー等)、1～3月 令和5年度 海外留学生徒募集・選考										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容							
	報償費	40		海外留学生徒作文審査謝礼							
	旅費	189		職員旅費(打合せ、国内留学引率、現地視察)							
	需用費	57		生徒募集リーフレット作成、消耗品費(フラットファイル他)							
	役務費・使用料及び賃借料	34		郵送料、国内旅行損害保険料(国内留学引率)、Wi-Fiレンタル							
	委託料	5,623		国内留学実施業務、現地視察業務委託							

## III 予算執行状況

区分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,251		5,908		15,821		16,501			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		1,251		5,908		15,821		16,501			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		8,250			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	1,251		5,908		15,821		8,251			
決算情報	① 流充用額	0		35							
	② 配当予算	1,251		5,943							
	③ 執行額	451		5,943							
	④ 執行率	36.1%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.40 / 0.00		0.41 / 0.00		/		/			
	② 概算人件費	3,200		3,280							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,651		9,223							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	はばたけ世界へ 中学生短期留学事業基金繰入(ふるさと創生事業基金)			種類	基金繰入金		5,908		40	頁
		実績金額		決算附属資料							

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	海外留学生徒数	人	0 / 0	0 / 10	15 / 15	/ 15	15
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	海外留学期間実施回数	回	0 / 0	0 / 0	1回分 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		0.0				
	事業説明会等事業啓発活動	回	0 / 0	0 / 2	6 / 3	/ 3	3
単位あたりコスト		0.0		990.5			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル化が進む現代において、次代を担う中学生の短期留学を支援することにより、将来的なグローバル人材の育成に繋げる。</li> <li>留学実施の際には、生徒募集から選考、留学の引率までを教育委員会で担う。</li> <li>生徒の学習意欲を尊重し、経済的理由で参加を断念することがないよう、生徒の留学費用(移動費用、授業・教材代、滞在費用等)は公費負担とする。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>留学実施業務及び現地視察企画・手配業務については外部委託し、留学中の安全に十分配慮した留学実施に結び付ける。</li> <li>令和5年度に海外留学を実施するため、10月に教育委員会職員による留学プログラム内容や現地校・ホームステイ先・現地体制・出入国状況等の現地視察及び評価を行った。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内留学には、募集人数15人のところ、27人の生徒から応募があった。</li> <li>コロナ禍での国内留学実施となったが、感染対策を徹底し、無事3日間の行程を終えることができた。参加生徒においては、留学を契機に今後に向けて大変意欲的な思いを聞くことができた。令和5年度留学生徒募集説明会では、先輩の体験談として、留学経験で得たことや学びを後輩の前で発表した。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>○海外留学の準備を進めてきたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染状況を鑑み、出発を先送りするのではなく、国内での留学を実施し、留学先でしか体験できない「本物」に触れる充実したプログラムを提供した。</p> <p>○国内留学参加生徒は予定していたプログラムに積極的に参加し、簡単な英単語でもコミュニケーションが取れることを実感したり、英語が母国語でない留学生が英語を使って活躍する姿に刺激を受けたり、3日間で様々な気づきを得た。留学前は英語力向上を目標とする生徒が多かったが、留学終了後は「海外留学を目標にしたい」、「たくさんの国を訪れていろいろな人に出会って勉強したい」、「他言語も学びたい」や、異文化への理解や興味・関心が強まったとの声が多く、留学によって視野をさらに広げることができた。</p> <p>○現地視察においては、人を優先とする交通マナーや多様性を受け入れる社会、穏やかなコミュニケーション性なども留学先として申し分なく、初めての海外渡航先としても最良の選択肢と考える。また、現地催行会社も日本人スタッフによって運営されており、身近なところに待機予定の引率者も含めて、生徒の身体や精神面でもサポートが可能と考える。留学先学校は日本からの受入実績が多くあり、生徒の英語習熟の程度に合わせた柔軟で多彩な学習プログラムが準備されている。ホームステイ先は選定基準を厳格に運用されることを前提として、滞在候補として訪問した家庭及びコーディネーターの印象は良好であった。</p>		
改善策	<p>○留学実施においては、感染症等の出入国規制による影響を受けるため、状況に応じた対応策の検討が必要である。</p> <p>○燃油付加運賃・航空保険料や為替相場の大幅な変動が起きた場合、留学実施費用が増加する可能性がある。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和6年海外留学生徒募集にあたり、応募者全員を対象とした研修プログラムを実施する方針で準備を進めていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	二十歳を祝う会事業					事業コード	610301				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実				
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進				施策コード	411				
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課				所属長	岸見 貴志				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	246	頁
計画期間	開始年度	昭和26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R5現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	青年が次代を担う者としての自覚を高め、社会の一員としての意識を養い、自己の確立に努めることを基本方針とし、その方針を具現化するために成人の日の前日に式典を挙行し、参集した二十歳の方を祝い、激励する。次代を担う対象者を保護者、地域が認め、大人の仲間として改めて受け入れる機会とする。										
対象者	式典を実施する年度中に20歳に達する人・保護者・地域住民				対象者数	800		単位あたりコスト	8.4		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	(株)フォールズ(警備)、Crew・Solook(音響・照明)、(株)街装社(会場設営)、(株)レントオール福知山										
事業概要 (簡潔書き)	○二十歳を祝う会の開催 令和5年1月8日(日)開催 三段池公園総合体育館 出席者:597人 内容 関係課や保健所との調整・指導をうけながら感染防止対策を実施し運営。 式典参加者は一定の間隔をとった座席とし、受付通路なども一方通行となるコーンとコーンバーを配置。 福知山高等学校放送部、府立工業高等学校吹奏楽部、福知山市合唱連盟、高校生ボランティアへは依頼はせず運営を行った。 新成人の門出をお祝いするために、市内70店舗で使用することができるクーポン付きの新成人お祝いちらしを配布した。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	報償費	78	手話通訳・要約筆記謝礼、新成人に対してお祝いメッセージ謝礼								
	需用費	156	手提げ袋、消耗品(布額テープ、マーカー他)、式次第作成用色上質紙、お祝いメッセージ案内ちらし作成								
	役務費	98	看板書換料、郵送料、切手代、ネット回線に伴う手数料								
	委託料	1,122	会場設営業務、音響・舞台照明業務、駐車場警備業務、動画編集・放映業務、パイプtent及び暖房器具等搬入設置業務、お祝いはがきちらしデザイン作成業務、お祝いはがきちらし印刷製本・封入業務								
使用料及び賃借料	205	三段池体育館使用料、盆栽借用料									

## III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	861	1,204	1,711	1,910				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	861	1,204	1,711	1,910					
予算財源内訳	① 一般財源	861	1,204	1,711	1,910				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	440	455						
	② 配当予算	1,301	1,659						
	③ 執行額	1,301	1,659						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・非常勤職員)	0.83 / 0.02	0.62 / 0.03	/	/				
	② 概算人件費	6,690	5,035						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,991	6,694							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	出席者の割合	%	76 / 100	79 / 100	76 / 100	/ / 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	二十歳を祝う会開催	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ / 1	1
	単位あたりコスト		1076.0	1301.0	1659.0	/	
	単位あたりリコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二十歳を祝う会は、成人としての自覚をもち、自ら生き抜こうとする二十歳を祝い、励ますことを目的に行われている。令和4年4月1日より成人年齢が18歳となったが、飲酒や喫煙、競馬などのギャンブルも含めすべての年齢制限がなくなる区切りは二十歳であり、引き続き重要な節目である。二十歳となった対象者が改めて自身の行動に責任をもち、同年代の仲間が一堂に集まり、再開を楽しむ場となるよう今後も式典を実施することは必要である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コスト的に活動内容にあった運営となっている。</li> <li>アトラクションも近隣高校に協力いただくなどコスト削減に努めている。</li> <li>近年の記念品の持ち帰り状況や近隣市の実施状況を考慮して、平成29年度から記念品を廃止している。二十歳となった対象者には、当時の小学校・中学校・高校の先生などからメッセージを募り、メッセージ集を作成し、令和5年二十歳を祝う会よりインターネット上で閲覧できるようにした。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係課や保健所との調整・指導を受けながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとり、式典を開催することができた。</li> <li>式典参加者は一定の間隔を座席とし、式典会場内外が密にならないようレーンを区切って一方通行とした。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとり、保護者や来賓者にも式典に参加していただいた。</li> <li>二十歳を祝う会に参加できない人も式典を閲覧できるようライブ配信を行い、当日は100人程度の閲覧があった。</li> <li>例年、工業高等学校吹奏楽部、福知山高等学校放送部、運営補助の高校生ボランティアの協力を得ていたが、今年度は依頼をしなかった。事前に市内6高等学校吹奏楽部の演奏映像の提供を依頼し、オープニング映像として随時放映した。形を変えて、学生の参画の場とすることが保障できた。</li> <li>出席率については、対象の7割以上の出席者があり、概ね目標は達成できたと思われる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>○平成18年度から対象者、関係者の増加に伴って三段池公園総合体育館で実施している。大きなトラブルもなく多くの対象者の参加を得て開催できたことは評価できる。</p> <p>○今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとっての式典になると考えられるため、引き続き関係課との連携を密にしていける必要がある。</p> <p>○令和4年4月1日から、成人年齢が18歳に引下げられたが、福知山市としては名称を「成人式」から「二十歳を祝う会」と改め、対象者は20歳とし、今後も式典時期は現行どおり1月の成人の日の前日に実施する。</p>		
改善策	<p>○継続的に事業実施を進め、対象者にとって充実した式典となるよう内容の見直しを検討していきたい。</p> <p>○市在住、出身、在勤の20歳が一同に介する機会であるので、新たな門出を迎える20歳に地元への関心を持ってもらうため、市内の協賛店舗で使用できるお祝いしがきの作成を引き続き行い、市政PR等の場とする。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>成人としての自覚や責任を持ってもらい、地元への関心を高めてもらう機会とするためお祝いしがき(ちらし)を作成した。【対象者:令和4年度 新成人(18歳~20歳)、令和5年度 18歳と20歳】次年度も、対象者にとって思い出となるようなイベント等を計画していきたい。式典については20歳を対象とし、実施する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	地域で支える「地域未来塾」開講事業					事業コード	630210				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進					施策コード	411			
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	岸見 貴志					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	246・248	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R5現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生に、教員OBや大学生など地域住民の協力による学習の場を提供し、学習習慣の確立と基礎学力の定着、義務教育終了時に必要な学力、高等学校等進学後に必要な学力の獲得を支援する。										
対象者	学習習慣を十分に身につけさせたい中学校3年生の生徒			対象者数	656		単位あたりコスト	11.7			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等											
事業概要 (簡潔書き)	○令和4年度実績 市内9ブロック、全市内市立中学校で実施 実施期間：9月上旬から3月上旬(週2回、各1時間) 主な実施教科：英語、数学 開講日数：256日 受講生徒数：83人 学習支援員数：延べ74人										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容							
	報償費	4,020		コーディネーター・学習支援員謝礼							
	旅費	41		コーディネーター研修旅費							
	需用費	531		消耗品費(インク、ホワイトボード、賞状用紙、文房具等)、教材代 等							
	役員費	105		コーディネーター・支援員傷害保険料							

## III 予算執行状況

区分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	6,094		6,040		5,983		5,993		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		6,094		6,040		5,983		5,993		
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	2,840		2,810		2,436		2,441		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	3,254		3,230		3,547		3,552		
決算情報	① 流充用額	0		△ 409						
	② 配当予算	6,094		5,631						
	③ 執行額	5,102		4,698						
	④ 執行率	83.7%		83.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.49 / 0.00		0.37 / 0.00		/		/		
	② 概算人件費	3,920		2,960						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,022		7,658						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域で支える「地域未来塾」開講事業	種類	教育費府補助金	実績金額	2,665		決算附属資料	32	
		地域で支える「地域未来塾」開講事業基金繰入金(ふるさと創生事業基金)		基金繰入金		1,900			40	
								頁		

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標	
	出席率	%	80.6 / 100	85.2 / 100	80.7 / 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	開校数	校	9 / 9	9 / 9	9 / 9	/ 9	9	
	単位あたりコスト		669.9	566.9	522.0	/		
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身についたりしていない中学生は、全国的にも大きな問題となっており、その中学生に対し、学習支援を行う必要性は高い。</li> <li>令和4年度は83人の生徒が受講し、延べ74人の学習支援員が支援を行った。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助(国・府)制度の活用。学習支援員は、地域の方のボランティアで実施している。また、計画的に事業を進めるため、地域支援コーディネーターを中心に実施している。</li> <li>地域の方々が学習支援などに協力いただいたことで、学校以外の学習の場を設け、受講生徒の学習習慣が身に付くよう支援ができた。また、学習の場だけでなく、地域の方々の心地よいやりとりの場や、安心して自分の思いを話せる居場所を提供することができた。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の出席率も高く、開講前のアンケート等においても家庭学習の時間が増えたという意見が聞かれた。(アンケート結果抜粋: 未来塾参加前と比べて、全体の88%の生徒が勉強する時間が増えたと回答した。未来塾参加前と比べて、全体の75%の生徒が1日30分以上勉強している日が増えたと回答した。)</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	○平成27年度に桃映地域をモデル事業として実施し、平成28年度には2地域(成和・六人部)を追加して3地域に、平成29年度はさらに2地域(南陵・日新)が加わって5地域に、平成30年度からは未実施であった4地域(川口、三和、大江、夜久野)を加え、市内全地域9地域にて実施。 ○令和4年度もコロナ禍での開催となったが、引き続き感染対策を実施しながら、学校・公民館・学習支援員の協力を得て、全ての学校が年間を通して事業を推進することができた。全体の開講日数は従来並みに確保できた。(前年対比47日増) ○学習指導員として参加する地域の方々からもやりがいを感じるとの意見をj得ている。このことから事務事業として高く評価できる。		
改善策	○2年以上お世話になっている学習支援員が9割以上となってきている。事業の安定した継続のため、地域未来塾の主旨を再確認し、学習習慣の確立と基礎学力定着等の支援を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	地域支援コーディネーターを中心として、引き続き新規学習支援員を募集し、より多くの地域住民の理解・協力を得られるよう努めたい。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--